

放射線研究クラスター

-放射線の作用並びにラジカルの反応機構解明から
放射線検出材・耐性剤・防護剤・増感剤の開発まで-

背景: γ 線の持つ物理化学的特性と、近年発展の著しい再生医療・医歯工学・薬化学および農芸化学の分野を融合することで、新領域の開拓が大いに期待できるが、中四国には放射線と生命化学分野の研究を1箇所で統合的に実施できる施設がない

目的: 四国の国私立大学および地方のステークホルダーとの連携による新たな放射線・放射性同位元素を用いた産業の創出、および研究支援を通じた放射線研究者の養成を行う。



成果: 新たな放射線・放射性同位元素利用により、放射生命化学研究の進展と人材養成、地域産業の発展に貢献できる